

〈報道関係者各位〉

2017年5月9日

大規模災害時には地域住民に開放し自立型避難所としても活用可能
敷地内での仮設テントの設営も可能！
山形県内初の地域貢献型モデルハウス
「レジリエンス展示場」誕生！

株式会社LIXIL住宅研究所
ジーエルホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所ジーエルホームカンパニー(本社:東京都江東区/代表取締役社長:今 城幸)のFC加盟店であるGLホーム米沢店(会社:株式会社中村建設/代表取締役社長:中村 浩)では、山形県内で初めて、大規模災害が発生した場合でも家族の命を守り、平时に近い生活を送ることのできる次世代レジリエンスホーム『家+X』のモデルハウスを、米沢市中田町に完成させ、5月13日(土)より公開します。

なお、万が一の大規模災害が発生した際には、このモデルハウスおよび併設する事務棟と敷地を、自立型避難所として地域住民に開放します。

LIXIL住宅研究所では、昨今頻発している自然災害に対し、家族の命と財産を守る住まいとしてレジリエンスホームの開発を進めてきました。弊社の提供する「レジリエンスホーム『家+X』」は、大地震時の本震や繰り返しの余震に対して強い構造を持ち、また、電気・水道・ガスなどのライフラインが途絶えても、救助が来るまでの間、自立した生活を送ることができる住宅です。

GLホーム米沢店のモデルハウスは、太陽光発電システムと大容量のLPガスなどを用いた停電時自立型発電システムや、家から電気自動車に充電できるだけでなく、停電時等には電気自動車から家へと給電できるシステムなどを備えています。

さらにモデルハウスだけでなく、併設の事務棟には大容量の貯水設備と、災害時には少量の水で利用できるレジリエンストイレを設置。敷地内のイベントスペースには、かまどベンチや仮設テントの設営が可能など、万一の災害時には、近隣住民の自立型避難所として展示場全体を使用できる『レジリエンス展示場』となっています。

レジリエンス機能を有するモデルハウスは、ツーバイシックス(2×6)工法に粘弾性体を使用した繰り返しの地震に強い制震システム「GTSウォール※1」を採用した『ハイパーモノコック構法※2』を基本構造とすることで、大地震が起きても家族の命と財産を守ります。

また、天井に230mm、外周壁に140mm等の断熱材、開口部にはトリプルガラスを採用し高い断熱性能を確保することで、平時は少ないエネルギーで暮らすことができ、室内の温度差を抑え、ヒートショックなどの健康リスクまでも低減できると考えています。さらに、この省エネ性の高い建物に、太陽光発電システム6.3kWと、お湯を沸かす時に発電する「HL²スーパーレジリエンスシステム※3」によるダブル発電により、収支エネルギーゼロを実現します。

※1:高層ビルの制震システムにも採用されている粘弾性体を用い、大きな揺れや建物の変位を抑える制震システム

※2:2×6工法によるモノコック構法と制震システムを搭載した当社オリジナルの構造体

※3:北海道基準の省エネルギー住宅+ガスエンジンコージェネ+地域価格連動型エネルギーをセットで提供するビジネスモデル



GLホーム米沢店 新モデルハウス
次世代レジリエンスホーム『家+X』外観

【報道関係者のお問合せ先】

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明

電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com

GLホームホームページ: <http://www.glhome.lixil-jk.co.jp/>

■GLホーム米沢店 レジリエンスホーム「家+X」モデルハウス 概要■

【オープン日】2017年5月13日(土)

【所在地】住所：山形県米沢市中田町 670

電話番号：0238-23-2600 (5/10 午後からは、0238-27-0955 に変更されます)

【営業時間】10:00～17:00

【特長】

1. 安心して暮らせる住まい

①災害に強いLPガス

ガス供給パイプラインが被害を受けても住居近接のLPガスなら湯沸かしや調理ができます。

②停電時自立運転機能付きガスエンジンコージェネレーション

普段はLPガスをエネルギーにお湯を沸かす際に発電し、停電時には自立して運転ができ、電気とお湯を作れます。

③電気自動車からの給電

普段は家から充電する電気自動車も、災害時には逆に家へと給電できます。



住居近接のエネルギー
LPガス



停電時には自立して
発電できる給湯設備



電気自動車からの給電機能

④備蓄スペース

中2階下には、万一の際の食料や水を保管しておく備蓄スペースがあります。大きな地震が発生した時に逃げ込めば、背の高い家具が倒れてくることもないので安心できるスペースです。



2. 子どもたちが楽しく過ごせる住まい

①大迫力のオープンシアタールーム

1階と2階の間にある中2階ホールでは、壁をスクリーンにして、ホームシアターを親子で楽しむことができます。



②子どもが壁にぶつかってもけがをしにくいカメレオンクッション

子ども部屋の壁には、転んでぶつかった時のケガを軽減するためにクッションを設置。マグネットでホワイトボードの壁に張り付き、はがせばお絵かきを楽しめます。



その他、滑り止めクッション付階段、R出隅、衝撃吸収床など、子どもにも大人にもやさしい仕様となっています。

■GLホーム米沢店 『レジリエンス展示場』 概要■

GLホーム米沢店のモデルハウスは、有事の際、災害に強いLPガスを使っての発電や、電気自動車から家への給電ができ、テレビでの情報入手、照明の確保、パソコン・スマートフォンへの充電も可能なモデルハウスです。

併設した事務棟では大容量の貯水設備に蓄えられた水を飲料水として使用でき、LPガスを利用して、モデルハウスでお湯を沸かして調理もできます。また、1Lの水で流すことができるレジリエンストイレは、200L貯められる雨水タンクの水を利用します。

さらに、イベントスペースにはベンチ型かまどやテントの設営ができ、敷地内に太陽光発電システムを設置しているため、災害時には展示場全体を近隣住民の自立型避難所として活用できます。

【特長】

1. レジリエンスホーム「家+X」モデルハウス

※特長は前頁の「1. 安心して暮らせる住まい」をご参照下さい。

2. 事務棟

①120Lの大容量飲料水タンク

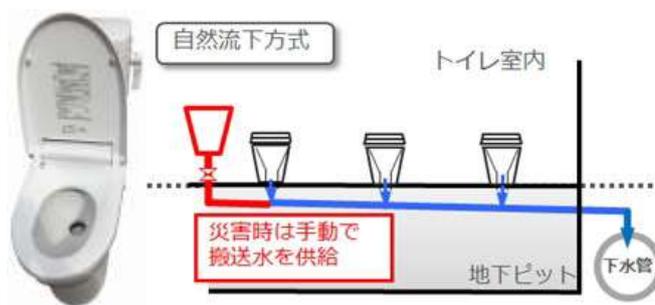
事務棟には4人家族が10日間生活できるだけの飲料水タンクを設置しています。

②少ない水で利用できるレジリエンストイレ

災害時には手動で1Lの水を供給して流します。事務棟に2箇所設置しています。



大容量飲料水タンク



レジリエンストイレ

3. イベントスペース

①テントが設営できるスペース

普段はイベント開催に活用するイベントスペースを、大規模災害時にはテントの設営スペースとして提供します。

②調理ができるかまどベンチ

ベンチ型のかまどでは、災害時には煮炊きをすることができます。火をおこすための薪も事務棟に保管しています。

②太陽光発電システム

敷地内には6.3kWの太陽光発電システムを設置。災害時には、太陽光発電システムで発電した電力をモデルハウスで使用することができ、避難してきた方のスマートフォンの充電なども行えます。